

1年	科目	保健体育	実習	通年	担当	佐藤誠・渡辺志保美・岩田忠義 Satou Makoto/ Watanabe shihomi/ Iwata Tadayoshi
全学科共通		Physical Education	必修	2履修単位		
各スポーツ種目を教材として取り上げ、それぞれの種目のルール、特性、戦術などを理解し、個人や集団で実践していくことを通して、生涯にわたって継続的にスポーツを実践していく能力と姿勢、仲間と協力していく態度を養う。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
	○	5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)						
実践指針 (専攻科のみ)						
授業目標						
個人においては、各種目、学生の能力に応じた課題を設け、その獲得及び習熟度を向上させる。集団においては、学生自らがそれぞれのレベルにあったゲームの展開をできるようにする。						
授業計画						
第1回	ガイダンス					
第2回	安全教育とほぐし	傷害に対する応急処置				
第3回	"	心肺蘇生と救急救命法				
第4回	バレーボール	バレーボール				
第5回	"					
第6回	"					
第7回	"					
第8回	ハンドボール	ハンドボール				
第9回	"					
第10回	"					
第11回	"					
第12回	ソフトボール	ソフトボール				
第13回	"					
第14回	"					
	前期末試験					
第15回	ソフトボール					
第16回	バスケットボール	バスケットボール				
第17回	"					
第18回	"					
第19回	"					
第20回	長距離走	長距離走				
第21回	"					
第22回	"					
第23回	"					
第24回	"					
第25回	サッカー・テニス	サッカー・テニス				
第26回	"					
第27回	"					
第28回	"					
第29回	"					
	学年末試験					
第30回	まとめ					
評価方法と基準	各種目の実技試験の成績(到達度)を60%、授業への参加率、参加態度、仲間との協力を40%として評価する。60点以上を合格とする。					
教科書等	テキストは使用しないが、必要に応じて資料を配布する。					
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					